# 災害対策プロジェクト

**基本目標４**　魅力的で安心して暮らせるまちをつくる

## ■事業の課題・目的

志布志市は台風や大雨による風水害、土砂災害に加え、南海トラフ巨大地震など、大規模な自然災害の脅威にさらされています。市民の皆様が安心して暮らせるまちであるためには、災害への対策は重要な課題です。

地震、津波、台風等の自然災害から市民の皆様の生命や財産、公共施設等を守り災害を未然に防ぐため、各種防災対策に関する計画の作成や更新、避難対策を実施していきます。

また、各種災害に迅速に対応できるよう体制整備の強化を進め、防災訓練の実施や災害備蓄品の整備を行いながら、避難・備蓄対策を推進していきます。

## ■事業内容




・市総合防災マップ（土砂災害、高潮、洪水）作成
・非常用発電機購入
・災害時用備蓄品（食料・水等）購入

〇市民の皆さんへ災害発生後３日間分の各種備蓄のお願いの呼びかけ

## ■なぜ寄附を募るのか

令和７年８月には九州南部で記録的な豪雨を記録するなど、近年地球温暖化等の影響でこれまでにはない激しい災害が増加しています。また、鹿児島県による南海トラフ巨大地震発生時の被害予測調査によると、志布志市の最大震度の想定は震度６強と発表されました。

このような現状がある中、いつ来るか分からない災害に対して、防災・減災対策の推進を図ることは大変重要です。迅速かつ的確な対応で市民の皆様の安心・安全を守る、取り組みを進めていきます。



## ■メッセージ

南海トラフ巨大地震が発生すると、最悪想定の場合、日本の人口の半分が被災し、その被害は東日本大震災の10倍以上となっています。

そのような中、最も大切なことは一人ひとりが救助される側にまわらないということです。救助する側の人数は限られているので、救助される側の人数が減り、救助する側にまわることができれば、単純に人命の救助率は上がっていきます。

そのために、平時においては一人ひとりの防災意識を高めることが最も重要で、併せて最低１週間分の備蓄が必要と考えます。

現在、意識を高める出前講座は実施していますが、備蓄を分散保管するためのコンテナが不足していますので、多くの皆さまのご支援をお願いします。